

五輪における持続可能な調達

ISO 20400「持続可能な調達」日本代表エキスパート
TOKYO 2020 持続可能な調達ワーキンググループ 委員
ロイドレジスタージャパン株式会社 取締役

富田秀実

ISO 20400における「持続可能な調達」の定義

持続可能な調達：

ライフサイクルにわたり社会的、経済的及び環境的に最大の利益をもたらす調達

- 注記1： 持続可能な調達は商品及びサービス、並びにサプライチェーンに属する供給者（サプライヤー）に関連する持続可能性側面を含む。
- 注記2： 持続可能な調達は、組織の持続可能性目的及び目標の達成、持続可能な開発一般に貢献する。

「もの・サービス」と「サプライヤー」の持続可能性に関わる

TOKYO 2020 持続可能な調達コード（案）

- 適用範囲：組織員会が調達するすべての物品・サービス及びライセンス商品
- 調達における持続可能性の原則：
 - ①どのように供給されているか、②どこから採り、何を使って作られているか、③サプライチェーンへの働きかけ、④資源の有効利用
- その他、担保方法、苦情処理システムなども含む

持続可能性に関する基準（共通事項）

全般	環境	人権	労働	経済
法令遵守など2項目	省エネルギーなど8項目	差別の禁止など7項目	長時間労働の禁止など9項目	腐敗防止など7項目

+

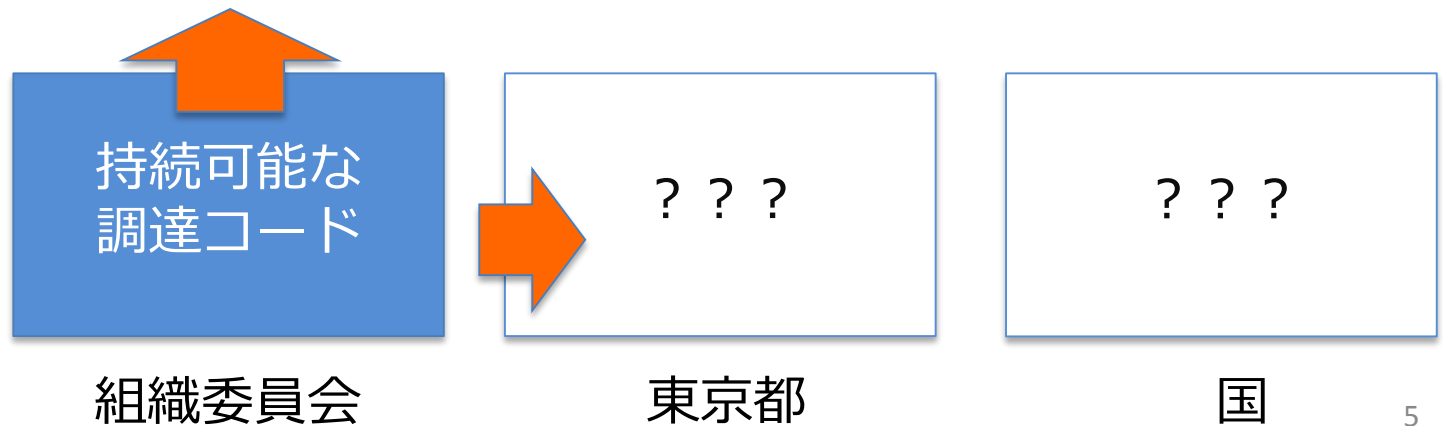
物品ごとの個別基準

木材 (策定済み)	農産物	畜産物	水産物	紙 (予定)	パーム油 (予定)
--------------	-----	-----	-----	-----------	--------------



組織委員会

持続可能な TOKYO2020に向けて



持続可能な TOKYO2020に向けて

Innovation

“ファースト”
In
TOKYO 2020

Target

持続可能性目標

Foundation

持続可能な
調達コード

組織委員会

持続可能な
調達コード

東京都

持続可能な
調達コード

国

TOKYO 2020のソフト・レガシーとしての 「持続可能な調達」

2020 オリパラ 持続可能な調達コードの実践



国や自治体での持続可能な公共調達の継続

2030 持続可能な開発目標（SDGs）の達成へ